



平成19年9月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年8月8日

上場会社名 株式会社 ピクセラ 上場取引所 東証一部
 コード番号 6731 URL <http://www.pixela.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長 藤岡 浩
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長 御前 仁志 TEL (06) 6633 - 3500

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年9月期第3四半期財務・業績の概況 (平成18年10月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年9月期第3四半期	4,725 (△24.3)	△875 (—)	△1,065 (—)	△1,245 (—)
18年9月期第3四半期	6,238 (12.1)	△437 (—)	△589 (—)	△583 (—)
18年9月期	8,623	△323	△588	△541

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年9月期第3四半期	△114 09	— —
18年9月期第3四半期	△53 53	— —
18年9月期	△49 61	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月期第3四半期	6,668	4,490	65.9	402 67
18年9月期第3四半期	9,609	5,276	53.7	473 07
18年9月期	8,371	5,846	68.9	528 57

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第3四半期	△273	336	65	2,047
18年9月期第3四半期	△47	10	△404	3,001
18年9月期	△635	△497	795	1,877

2. 平成19年9月期の連結業績予想 (平成18年10月1日 ~ 平成19年9月30日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,460 9.7	△531 —	△730 —	△923 —	△84 60

平成19年5月18日公表時から変更してありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動) : 有
 新規 1社 (社名 株式会社ピアレックス・テクノロジーズ)
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成19年9月期第3四半期の個別業績 (平成18年10月1日～平成19年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年9月期第3四半期	4,627 (△25.8)	△734 (－)	△709 (－)	△1,259 (－)
18年9月期第3四半期	6,238 (12.1)	△267 (－)	△268 (－)	△273 (－)
18年9月期	8,607	△62	△61	△38

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年9月期第3四半期	△115 37	－ ー
18年9月期第3四半期	△25 07	－ ー
18年9月期	△3 48	－ ー

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月期第3四半期	6,334	4,554	71.9	417 21
18年9月期第3四半期	8,813	5,727	65.0	524 89
(参考) 18年9月期	8,439	5,939	70.4	544 37

2. 平成19年9月期の個別業績予想 (平成18年10月1日 ～ 平成19年9月30日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	8,912 3.5	△360 ー	△361 ー	△910 ー	△83 44

平成19年5月18日公表時から変更していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、実際の数値は今後様々な要因により、上記予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における売上高は、47 億 25 百万円（前年同期比 24.3%減）となりました。

製品売上部門においては、テレビメーカーが容易に地上デジタルテレビを製造できる組込型の地上デジタル放送受信ボードの出荷を開始したほか、既存のアナログテレビに接続することで地上デジタル放送の受信が可能になる地上デジタル放送受信チューナーの製品化を発表し、デジタルAV家電分野に本格参入いたしました。

一方、主力製品であるパソコン向けキャプチャー関連製品は、新たに外資系パソコンメーカーへOEM供給を開始し、アナログボードからデジタルボードへの移行が順調に進み単価は上昇したものの、新OS「ウィンドウズビスタ」発売後もパソコンの販売台数が伸び悩んだことやテレビ機能搭載機種数の減少などが影響し、大幅な減収となりました。

ソフトウェアロイヤリティ部門においては、地デジ放送視聴アプリやスマートフォン向けワンセグ受信ソフト等が健闘したものの、デジタルカメラ向けの画像編集ソフトウェアは各メーカーによる内製化が進み、全体として減収となりました。

利益面につきましては、減収によるもののほか、モバイル機器やデジタルAV家電製品等の新規事業立ち上げに伴う人件費やその他の開発費の増加により、営業損失 8 億 75 百万円（前年同期 4 億 37 百万円の損失）、経常損失 10 億 65 百万円（前年同期 5 億 89 百万円の損失）、第 3 四半期純損失 12 億 45 百万円（前年同期 5 億 83 百万円の損失）となりました。

〔製品分類別売上高〕

（単位：百万円）

	平成 19 年 9 月期 第 3 四半期		平成 18 年 9 月期 第 3 四半期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
製品売上	3,917	82.9	5,249	84.1
ソフトウェアロイヤリティ	639	13.5	790	12.7
受託開発	168	3.6	198	3.2
合計	4,725	100.0	6,238	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

当第 3 四半期末の資産合計は、66 億 68 百万円となり前年度末比 17 億 3 百万円減少いたしました。これは主に売上債権の減少及び関係会社株式の評価替え等によるものであります。

負債合計は、買掛金の減少等により 21 億 78 百万円となり前年度末比 3 億 47 百万円減少いたしました。

純資産は、主に利益剰余金の減少により 44 億 90 百万円となり前年度末比 13 億 56 百万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は前年度末比 1.5 ポイント上昇し、71.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は 20 億 47 百万円となり、前期末（平成 18 年 9 月末）より 1 億 69 百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況の要約は以下のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2 億 73 百万円の支出（前年同期に支出した資金 47 百万円）となりました。これは、売上債権が 9 億 81 百万円、たな卸資産が 1 億 60 百万円それぞれ減少したものの、仕入債務が 6 億 93 百万円減少し、税金等調整前四半期純損失が 10 億 65 百万円となったこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3 億 36 百万円の増加（前年同期に増加した資金は 10 百万円）となりました。これは、有価証券・投資有価証券の売却による収入が 5 億 13 百万円あったものの、固定資産の取得による支出が 1 億 53 百万円あったこと等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、65 百万円の増加（前年同期に支出した資金は 4 億 4 百万円）となりました。これは、子会社の増資による収入 2 億 3 百万円や配当金の支払による支出 1 億 17 百万円等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

パソコン向けキャプチャー関連製品におきましては、シェアの拡大を目指し新たな外資系メーカーへの営業を強化し、また、販売台数の優るノートパソコンへの搭載比率を高めるため様々な施策もうっております。しかしながら、秋冬モデルでのパソコン市場の回復、テレビ機能搭載機種増加は予断を許さない状況が続くと考えております。

一方、デジタルAV家電の分野では、地上デジタル放送受信チューナーを当第4四半期より、OEM供給、自社ブランドの両ルートで、順次市場投入してまいります。また、組込み型地上デジタル放送受信ボードを利用した新たな製品展開も予定しております。その他、モバイル機器では、携帯端末でもパソコンでも利用可能なワンセグ受信ユニットの販売を開始いたします。

通期の業績につきましては、これらの業況次第ではあるものの、平成19年5月18日に発表いたしました業績予想に現時点では変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

これまで持分法適用会社でありました株式会社ピアレックス・テクノロジーズの株式を追加で取得したため、平成19年5月30日付で当社の子会社となりました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の算出は、法定実効税率をベースとした年間予測税率を用いて計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以 上

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年9月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成18年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	3,001	2,047	△954	△31.8	1,877
2. 受取手形及び売掛金	3,204	2,580	△623	△19.5	3,463
3. たな卸資産	1,103	871	△231	△21.0	1,042
4. その他	414	62	△351	△84.9	720
流動資産合計	7,723	5,561	△2,161	△28.0	7,104
II 固定資産					
1. 有形固定資産	189	281	91	48.4	156
2. 無形固定資産	886	218	△667	△75.3	123
3. 投資その他の資産	811	607	△203	△25.1	987
固定資産合計	1,886	1,106	△779	△41.3	1,267
資産合計	9,609	6,668	△2,941	△30.6	8,371
(負 債 の 部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	2,514	1,171	△1,343	△53.4	1,838
2. その他	1,618	687	△931	△57.5	479
流動負債合計	4,132	1,858	△2,274	△55.0	2,318
II 固定負債					
1. 役員退職慰労金引当金	199	226	27	13.7	206
2. その他	0	93	92	—	—
固定負債合計	200	319	119	59.6	206
負債合計	4,333	2,178	△2,155	△49.7	2,525
(純 資 産 の 部)					
I 株主資本					
1. 資本金	2,560	2,562	1	0.1	2,560
2. 資本剰余金	3,217	3,218	1	0.0	3,217
3. 利益剰余金	△469	△1,220	△751	—	155
4. 自己株式	△125	△124	1	—	△124
株主資本合計	5,183	4,435	△748	△14.4	5,808
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	△23	△45	△21	—	△46
2. 為替換算調整勘定	2	5	3	175.5	5
評価・換算差額等合計	△21	△39	△17	—	△41
III 少数株主持分	114	95	△19	△17.0	79
純資産合計	5,276	4,490	△785	△14.9	5,846
負債及び純資産合計	9,609	6,668	△2,941	△30.6	8,371

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 自 平成17年10月1日 至 平成18年6月30日	当四半期 自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日	増 減		(参考) 平成18年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	6,238	4,725	△1,513	△24.3	8,623
II 売上原価	5,018	3,788	△1,230	△24.5	6,667
売上総利益	1,219	937	△282	△23.2	1,956
III 販売費及び一般管理費	1,657	1,812	155	9.4	2,280
営業損失	437	875	437	—	323
IV 営業外収益	23	47	23	97.0	33
V 営業外費用	175	236	61	35.2	298
経常損失	589	1,065	476	—	588
VI 特別利益	—	1	1	—	—
VII 特別損失	—	1	1	—	—
税金等調整前四半期(当期) 純損失	589	1,065	476	—	588
法人税、住民税及び事業税	9	5	△3	△34.6	31
法人税等調整額	△4	229	233	—	△53
少数株主利益	△10	△54	△44	—	△25
四半期(当期)純損失	583	1,245	661	—	541

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成18年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	(参考) 平成18年9月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	△589	△1,065	△588
減価償却費	68	101	154
持分法による投資損失	115	212	243
売上債権の増加・減少額	457	981	189
たな卸資産の増加・減少額	△601	160	△540
仕入債務の増加・減少額	455	△693	△214
その他	△43	42	28
小 計	△135	△261	△728
利息及び配当金の受取額	6	11	13
利息の支払額	△1	△2	△2
法人税等の還付・支払額	82	△20	83
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47	△273	△635
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	△94	△153	△117
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△232	—	△734
有価証券・投資有価証券の売却による収入	—	513	—
その他	338	△23	353
投資活動によるキャッシュ・フロー	10	336	△497
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	8	203	8
借入金の返済による支出	△300	△56	—
配当金の支払による支出	△116	△117	△116
その他	3	35	903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404	65	795
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	28	19
V 現金及び現金同等物の増加・減少額	△439	158	△317
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,440	1,877	3,440
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,001	2,047	1,877